

名古屋市営地下鉄伏見駅



ヨリマチFUSHIMI

平日で約15万人／日の利用者があ
る伏見駅。駅ナカ商業施設「ヨリマチ
FUSHIMI」は、その構内地下1F南
側コンコースの中改札口から南改札
口の約100mの区間に新たに誕生し
た。



トイレ入口

駅構内の商業施設にあって、街の一角にある小さな公園を想起させるポケットパークを表現してリニューアルされた。トイレ前にはベンチを設置し、待ち合わせなどの際に利用できる空間を生み出している。



女性トイレ 洗面コーナー



アイランド型の洗面には電気温水器を設置し、冬でもお湯が使えるように配慮。さらに、洗面器の内1ヶ所はお子様の使いやすさを考慮して低めに設置。男の子連れの方への配慮として、幼児用小便器を設置している。

トイレ図面

入口正面に左右勝手違いの多機能トイレを配置。使いやすく、わかりやすくレイアウトされたトイレスペース。



女性トイレ
スタイリングコーナー

間仕切り壁や荷物置き棚を設置し、ゆったりお化粧直しができるスタイリングコーナー。顔全体に光が均一に当たるよう設計されたLED照明付鏡を採用。奥には、着替え専用のフィッティングブースを配置している。



女性トイレ
大便器コーナー

グレーの壁と木目調とが美しい調和を見せる、すっきりとした温かみ感じさせる内装。ブースの壁は天井まで立ち上げ、個室感を高めるとともに、防犯面に配慮している。



女性トイレ
大便器ブース



大便器は全洋式化とし、清掃性に優れた壁掛大便器セット・フラッシュタンク式を採用。男女各1ブースは広めのブースとし、乳幼児連れ配慮としてベビーシートとベビーチェアを設置している。



男性トイレ
洗面・スタイリング
コーナー

洗面は、間口の広い壁掛ハイバック洗面を採用。女性トイレ同様、1ヶ所はお子様の使いやすい高さに配置。さらに、男性トイレ内にもスタイリングコーナーを設置している



男性トイレ
小便器コーナー

置いた荷物の倒れ防止に配慮して、荷物止め付きのカウンターを設置。さらに小便器の間に間仕切りを設けプライバシーを確保。足元には、尿の飛散によるにおいや汚れを軽減する、ハイドロセラフロアを採用している。



多機能トイレ



だれもが使いやすいよう、左右勝手違いで2ヶ所設置された多機能トイレ。ベビーシートやベビーチェアも設置されており、多目的な使われ方に配慮している。

水まわりの特長

建物の特徴

名古屋市営地下鉄の伏見駅は、名古屋駅、栄駅、金山駅に次いで乗降客が多く、東山線と鶴舞線の2路線の乗り換え客を含めると平日で約15万人／日の利用者がある。駅ナカ商業施設「ヨリマチFUSHIMI」は、この伏見駅の「駅ナカ事業」として、名古屋市交通局が整備した初めての駅ナカ施設となる。コンセプトは、「ミチからマチへ〜Fushimi Crossing Place〜」。多彩な要素が交わる街・伏見の玄関口を、“ただ通過するだけの「ミチ」からより楽しい「マチ」へ”と変えていきたいという意味が込められている。伏見駅地下1階の南改札口から中改札口までの約100メートルにコンビニ、カフェ、アクセサリーなどの店舗が入居する。

トイレの特長

トイレのリニューアルにあたり、街の一角にある小さな公園をイメージして、駅ナカ商業施設の中のポケットパークを表現。木目調の隔壁や扉の採用、間接照明・ダウンライトの採用などにより、温かく落ち着いた空間を演出。小便器に隔壁を設ける、スタイリングコーナーのパーソナル化を図るなど、商業施設にふさわしい設えが整えられている。さらに、駅ナカという立地上の観点から、におい対策や防犯対策、使いやすさまできめ細やかな配慮がされている。

建築概要

名称	名古屋市営地下鉄伏見駅
所在地	愛知県名古屋市中区錦2-16-24先
施主	名古屋市交通局
設計	基本 株式会社スペース 実施 株式会社 伊藤建築設計事務所
施工	株式会社原田工務店
竣工年月	(改修)2019年12月
建築面積	約126㎡

おもなTOTO使用機器

壁掛大便器セット・フラッシュタンク式:UAXC3C
ウォシュレットPS(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5523AUYS
スベア付紙巻器:YH163 R/L S／汚物入れ:YKB104
自動洗浄小便器:UFS900R／壁掛ハイバック洗面:LSH125AA、LSH135AA
LED照明付鏡:EL80016／フィッティングボード:YKA41
コンパクトオストメイトバック:UAS8*LDB2NW／ベビーシート:YKA25R
ベビーチェア:YKA15R、YKA16R／幼児用小便器:U310GW
ハイドロセラ・フロアキップ:AB545KA